

令和6年度 SSH 生徒研究発表会

8月7日(水)～8日(木)の2日間、神戸国際展示場で行われた、令和6年度 SSH 生徒研究発表会に、3年生の1名、引率教員1名が参加しました。この SSH 生徒研究発表会は、全国の SSH に指定されている高校・中等教育学校が一堂に会して、取り組んできた研究の成果を、お互いに発表し合う場です。本校からは数学・情報領域の生徒が、「メディア教材は学習にどの程度貢献するか？—ゲーム・動画・文章を用いた学習教材による記憶と理解の比較—」というテーマで、動画・ゲームを用いた教材は文章教材よりも効率的に学習できるかを調べるための実験を行った成果を発表しました。具体的には、独自に作成した学習内容と、それについての教材による学習作業を行い、その学習効果を記憶テストにより点数化し、学習内容や教材ごとに、被験者群間で得点を比較しました。

昨年度より SSH に指定されたため、本校として2回目の参加となりましたが、生徒は、堂々と自分が行ってきた研究の成果を、SSH 校の生徒や教員、大学教員、審査員など様々な方々へ発表していました。また、他校の発表を聴くことで、レベルの高さを目の当たりにし、大きな刺激を受けているようでした。研究することの奥深さを感じることができた、2日間となりました。

